

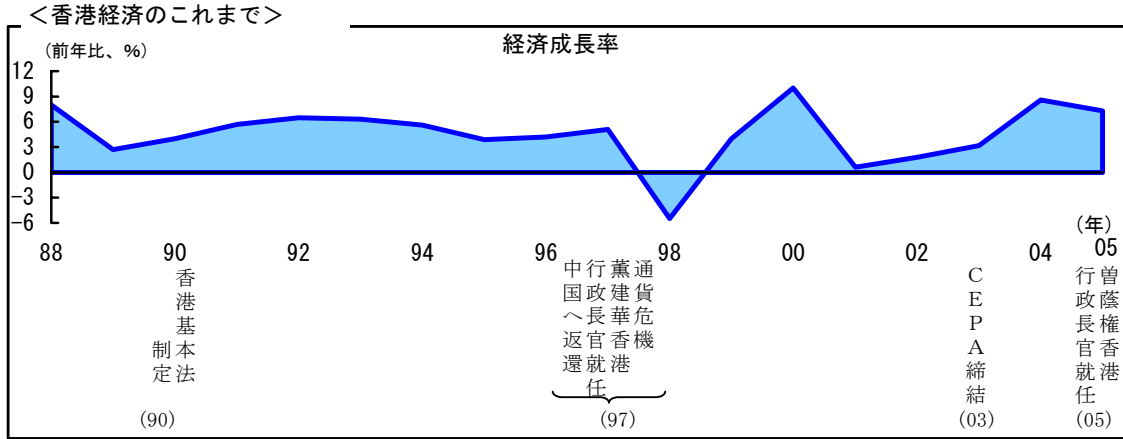
6 香 港

Hong Kong

<2005年>

人口	697.0万人 (東京都の約1/2)	財政会計年度	4月～3月
一人当たりGDP	25,625ドル	為替制度	カレンシー・ボード制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 0.1% 2次産業 9.9% 3次産業 90.0%	通貨	香港ドル 1米ドル=7.777香港ドル

面積1,101km²(東京都の約1/2)



香港の主要経済指標

		94~03年	2004年	2005年	2006年		
					政府	A D B	I M F
実質GDP	前年比%	3.4	8.6	7.3	4.0~5.0	5.5	5.5
個人消費	同上	6.5	7.3	3.7	—	—	—
総固定資本形成	同上	6.1	3.0	3.9	—	—	—
製造業生産	同上	▲ 4.3	2.9	2.5	—	—	—
消費者物価	同上	1.7	▲ 0.4	1.1	2.3	2.5	1.8
失業率	%	1.7	6.8	5.6	—	—	—
経常収支	億米ドル	—	157.3	197.0	—	—	—
(GDP比)	%	—	(9.5)	(11.1)	—	(11.0)	(10.1)
財政収支	億米ドル	—	▲ 294.3	40.6	—	—	—
(GDP比、年度)	%	—	(▲ 2.3)	—	—	—	—
政府債務残高	億米ドル	—	39.4	38.5	—	—	—
(GDP比、年度末)	%	—	(2.4)	—	—	—	—

(備考) 1. 香港特別行政区政府統計局。ただし財政収支は“The 2006/2007 Budget”(2006年2月)発表、政府見通しは2006年2月発表、A D Bは“Economic Development Outlook”(2006年4月)、I M Fは“World Economic Outlook”(2006年4月)による。
2. 消費者物価は所得階層別に3種類発表されており、これらを統合してC P I総合が公表されている。表中ではC P I総合を採用しており、都市部家計数の90%をカバーしている。

<2005~06年の経済>

2005年の経済成長率は7.3%となった。04年の8.6%よりやや低下したものの、05年11月の政府見通し(7.0%)を上回る高成長となった。05年は内需が堅調に推移するとともに、中国本土向け輸出が順調に増加し、年後半は世界需要も持ち直すなど、外需が成長に大きく寄与した。また、失業率は過去最高を記録した03年7月(8.7%)以降、緩やかに改善している。

06年は、5.0%前後(政府見通し4.0~5.0%(06年2月時点)、民間機関29社の平均5.2%(06年4月時点))と予測される。成長を支える要因としては、中国経済の拡大の継続による輸出の拡大が挙げられる。これに加え、輸出の約45%のシェアを占め、最大の貿易相手国である中国本土への輸出に関し、06年1月1日よりC E P A(経済貿易緊密化協定)に基づく免除適用範囲が拡大されたため、中国向け輸出の一層の増加が見込まれている。また、好調な外需が内需へも波及し、雇用環境が改善しており、個人消費も堅調に推移するとみられる。